



マリアさまがそうであったように、わたしたちもかみにかんしゃをささげましょう。

わたしのたましいは しゅをあがめ、わたしのれいは
すくいぬしであるかみをよろこびたたえます。(ルカ 1・46)



こんげつは、イエスさまのおかあさん、マリアさまをおいわれます。マリアさまは とても きよい ところをもち、じぶんがもっている すべては、かみさまからの おくりものだとしていました。



イエスさまをおなかに やどしていた マリアさまは、おなじように あかちゃんをおなかに やどしていた エリサベトにあいこいきました。そして、「かみさまが すばらしいことをしてくださいました！」とよろこびました。



マリアさまは、すべては かみさまから いただいたものだとしていました。だから、なくなった あと、てんに あげられ、てんごくへ みちびかれました。



ガブリエルは、きょう あいの おこないをたくさんしました。あさごはんでは、おきにいりの アステリックスの コップを、それを ほしがっていたおとうとに ゆずって あげました。



それから、おとうさんに くつを かたづけするように いわれると、すぐに かたづけました。さらに、どうぶのおばあちゃんのおたんじょうびのために、みんながたのしめる なぞなぞ ゲームも よういしました。



ねる まえに、ガブリエルは イエスさまに きょう 1にちのかんしゃをしました。どうぶの なぞなぞでは、「イエスさまはほんとうにいるよ。あいすることをおしえてくださるから！」とはなそうとおもいました。